

児童発達支援

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	児童デイサービス ドリーム手稲		公表日	令和 8 年 3 月 1 日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		支援計画に基づいてねらいを設定し、活動内容やお子さんの発達に応じて部屋を分けるなどして環境設定を行っている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		活動内容やお子さんの発達段階等に応じて職員の配置を行っている。戸外活動や個別活動の際には職員人数を増員している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		活動内容に応じてスペースを仕切る等環境を整えている。お子さんがわかりやすいように、写真・イラスト・絵カード等の視覚提示を行い、見通しが持てるように配慮している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		室内の掃除、消毒・点検等を行っている。空気清浄機を設置し定期的に換気を行い、快適に過ごせるようにしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		個別活動やクールダウンなど必要に応じて使用している。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		職員全員が参加をし、申し送りや振り返りを行い、目標設定や職員配置を行っている。お子さんの関わり方を統一したり、反省点を次の療育に活かすようにしている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		評価結果を踏まえて、業務改善に繋げている。HPで公開している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		日々の申し送りや振り返り、ミーティング等で、職員間で意見交換を行い業務の改善を図っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>		今後、検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		社内研修を行い、職員の質の向上を目指している。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		ホームページにて公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		アセスメントシートを使用し課題を分析し、保護者の方の要望を聞き取り、必要と思われる支援を検討し立案している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		職員間で共有し評価・検討し、作成している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		職員間で共有し、日々の話し合いの中で統一した関わりができるよう取り組んでいる。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		アセスメントシートや個人記録を作成し、状況の確認を行っている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		ガイドラインに則した支援項目を設定している。保護者の意向を聞き取り、関係機関と情報交換を行い、支援内容を設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		月案を作成し、担当者が中心となって立案している。	

	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		月案を作成し、お子さんに必要な活動やプログラムを職員間で検討している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>		集団活動、個別活動を組み合わせて療育を行い、支援計画にも反映させている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		支援開始前には必ず職員間で活動のねらいや流れなどを確認し、役割を分担して支援を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>		振り返りを行い、関わり方や療育内容について検討し、次の支援に活かせるようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>		お子さんの様子を具体的に記録に残し、支援の際に活かしている。また、保護者からの連絡事項ややり取り等も残すようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>		3か月～半年に一度、また必要に応じて、支援計画の作成見直しを合わせて行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>		担当者会議がある際には児発管や療育担当職員が参加している。	
	25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>		各機関と情報交換を行い、連携を図っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園等)の間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	<input type="radio"/>		移行先の保育園や幼稚園など保護者の意向を踏まえて行っている。サポートファイルを活用し情報共有を行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	<input type="radio"/>		必要に応じてサポートファイルを提出している。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	<input type="radio"/>		専門機関の助言を受けている。機関支援主催の研修にも参加をしたり、児童発達支援センターと定期的に情報を交換している。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	<input type="radio"/>			地域行事に参加をしたり公園等で機会を設けていく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>		お子さんの様子を連絡ノートや送迎時、電話等で情報交換を行ったり、必要に応じて相談を受けたりアドバイスを行っている。保護者と共通理解のもと支援できるように努めている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	<input type="radio"/>		保護者の方の困り感や育児負担の軽減に繋がるように必要に応じて助言などを行っている。茶話会や、ブログ、ドリーム通信等で情報提供を行っている。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>		契約時には必ず説明をしている。		

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		支援計画の作成時には、必ず保護者の方の意向や要望を確認し作成している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		支援計画作成後、保護者の方と面談や電話にて支援内容の説明を行い、同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		定期的に面談を行い、助言やアドバイス等を行っている。その他必要に応じて相談等に応じている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		茶話会を開催し保護者の方々の交流の機会を設けている。就学前相談会も実施している。茶話会の際に兄妹をお預かりし交流する機会を設けている。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		申入れ時には迅速に対応できるように努めている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		ドリーム通信やブログ、SNSで発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の文書などの取り扱いには十分に注意をしている。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		保護者の方の思いや、お子さんの気持ちに寄り添い、受容・共感し支援を行っている。	
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			地域の活動に参加をしたり、訪問等の機会を設けられるようにする。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルを作成し、職員間で周知している。毎月避難訓練を実施する中で、訓練内容の見直しや整備を行っている。ドリーム通信やブログ等を通して周知している。	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		月に一度想定される災害において避難訓練を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		契約時には必ず細かな成育歴を聞き取り、その後発生したものに関しては報告してもらうようにし、職員に周知、事業所内各部屋に掲示して確認できるようにしている。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		契約時にはアレルギーの有無を確認し、全職員に周知している。その後発生したものは報告をお願いしている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、職員に周知している。計画に基づき点検や研修を行い、安全管理に努めている。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全計画を作成し、ホームページにて公表している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット事例を作成している。事例があった場合には報告書にて全職員に周知をし、再発防止に努めている。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止研修や、虐待防止通信を発行している。適切な対応ができるようにチェックシートも活用している。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		支援計画にてやむを得ない身体拘束について記載し、保護者の方に説明し同意を得ている。また、拘束しない対応方法を常に検討している。		